

## 身近な温暖化対策について

二酸化炭素は、化石燃料等を燃焼させることで大量に発生します。発電所やごみ処理施設の焼却炉、また自動車のエンジンも化石燃料であるガソリンを燃焼させています。こういったものを抑制することが、温暖化対策になります。わたしたちひとりひとりがライフスタイルを見直し、温暖化対策を心がけることで温室効果ガスを抑制することができます。



### 3R

3Rは、リデュース (Reduce/減らす)、リユース (Reuse/再使用する)、リサイクル (Recycle/再資源化する)の頭文字です。不要になったものを捨てるのではなく、必要に応じて修理し再使用すること、分別して再資源化することで、ごみの減量につながります。ごみを減らすことでごみの処分や、製品を新たに製作する際に発生する二酸化炭素を抑制できます。

### マイバッグ・エコバッグの使用

スーパーで貰えるレジ袋はごみとして焼却することで、二酸化炭素が発生します。いろいろ使えて便利な物ではありますが、レジ袋を断ってマイバッグやエコバッグを利用することが温暖化対策になります。

### 節電

日本の電気は主に火力発電でまかなわれており、液化天然ガスや石炭、石油を燃焼させて作られています。そのため、必要のない電灯を消す、エアコンの設定温度を極端に高くしたり低くしたりしない、待機電力を消費しないよう使用しない家電製品のコンセントを抜く等、各家庭が節電を心がけることが温暖化対策になります。

### 公共交通機関や自転車の利用

お出かけの際はできるだけ自家用車の使用を控え、電車やバス等の公共交通機関や自転車を利用することで、ガソリンを燃焼することで発生する二酸化炭素の削減につながります。

問合せ 環境衛生課 ☎444・3132 FAX443・3555

## 洪水情報が緊急速報メールで発信！

国が管理する庄内川及び木曾川で、氾濫の危険が高まった時、緊急速報メール(エリアメール)が自動で発信されます。メールを着信したら、雨の降り方や川の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。

問合せ先 国土交通省庄内川河川事務所 ☎052・914・6711 FAX052・915・5093

## 突然の大雨など風水害に備えて

市は、ゲリラ豪雨や河川の氾濫による水害の危険のある地域です。

梅雨入りを迎えるにあたり家庭でも、以前配布した洪水・内水ハザードマップを確認したり、防災についての話し合いをするなどして、少しでも被害を軽減できるように心掛けましょう。

～市からのお願い～

### 【早めの避難を心掛ける】

市内へ警報が発令された場合などは、始めに下記の3か所の避難所を開設します。不安のある方は、早めに避難してください。

- ①七宝保健センター
- ②美和保健センター
- ③甚目寺総合福祉会館

※洪水・内水ハザードマップは、市公式ウェブサイトにも掲載しています。

<https://www.city.ama.aichi.jp/kurashi/safety/bousai/1002250.html>

### 【危険箇所の把握】

急な大雨の場合、通勤や通学で利用している道に、思わぬ危険が潜んでいる場合があります。普段から危険箇所の把握をして、増水時は、近づかないようにしましょう。



問合せ先 安全安心課 ☎444・0862 FAX441・8330

### 【災害情報の配信】

市では、災害時における避難所の開設、避難勧告等の情報を携帯電話のメールサービス「あま市防災情報メール」で配信しています。

より確実に情報を伝えることができますので、1人でも多くご登録いただきますようお願いいたします。

#### 登録先メールアドレス

✉bousai.ama-city@raiden.ktaiwork.jp



QRコードはこちら

- ①携帯電話等の新規メールに宛先を入力し空メールを送信する。  
件名・本文は必要ないので、宛先のみ入力してください。
  - ②返信されたメール内のアドレスにアクセスし、登録してください。
- ※1空メールが送信できない場合は本文に何か1文字入れてください。  
※2受信設定をしている方はドメイン指定を解除してください。  
※3登録ができない場合は、安全安心課へお問い合わせください。